

※基準年は2023年度、Scope3はCategory IとIIの合算

		2026	2030	2040	2050		
目標 KPI※	Scope I +2	▲12%	▲37%	▲71%	▲100%		
	Scope3		▲22%	▲56%	▲100%		
Z e r o	Scope I +2	作業所	ICTの活用等によるエネルギー生産性の向上		ロボット施工や重機自動運転の採用拡大		
			バイオディーゼル燃料導入		各種補助事業の活用		
			重機電動化推進		各種補助事業の活用、導入インセンティブの検討		
			再エネ由来電力導入	国内単体 100%	国内連結 100%	グローバル連結 100%	
	自社オフィス ・車両	RE電力・CNガス導入拡大		新規建物の原則ZEB化	既存保有建物のZEB改修		
		EV・FCV車両の導入					
B e y o n d	Scope3	建設資材	低炭素建材の開発・普及促進		環境配慮型コンクリート、電炉鋼の採用拡大 等	環境配慮型コンクリートの構造材への適用拡大 等	水素還元鉄など次世代技術の採用
		ZEB	ZEB関連技術開発・ZEB提案・普及促進		2027年 新築平均 ZEB Ready 達成	ZEB区分の段階的向上に資する活動	新築平均 Nearly ZEB 達成
		LCA	LCCO ₂ 削減提案の推進		LCCO ₂ 算出の社内体制構築	LCCO ₂ 削減策の拡充	バリューチェーン全体でのLCCO ₂ 削減貢献
削減貢献	再エネ事業	再エネ発電事業の推進		2030年 発電容量 累計 300MW	発電種別の多様化	グループ全体&顧客への再エネ供給	
	再エネ施設建設	再エネ発電施設の普及貢献		陸上風力・着床式洋上風力	浮体式洋上風力	次世代グリーンエネルギー	